

社 会 教 育

1 社会教育事業概要

(1) 社会教育委員の活動

第1回	5月7日(金)	委嘱状の交付 平成22年度議長・副議長の選出 平成22年度社会教育・社会体育事業概要について 平成22年度社会教育委員の活動計画について 社会教育全般について意見交換
第2回	8月20日(金)	京丹後市の学校再配置計画について 近畿地区社会教育研究大会の参加について 京丹後市における公民館の推進体制について 社会教育全般について意見交換
第3回	11月17日(水)	京都府社会教育研究大会の参加について 丹後地方社会教育委員連絡協議会研修会について 京丹後市公民館連絡協議会研修会の参加について 地域公民館長との研究協議
研究協議	11月29日～ 12月16日	地域公民館別懇談会(6地域) 『地域における公民館の現状と課題』 *社会教育委員が分担して6地域で開催
課題学習	12月10日(金)	『京丹後市公民館連絡協議会研修会』への参加 講義・テーマ討議 「地域の魅力を生かした公民館活動」
第4回	1月21日(金)	平成23年度社会教育予算要求の概要について 平成23年度社会教育指導の重点について 全国社会教育研究大会に向けて 社会教育委員会議の答申について(答申別紙)
第5回	2月7日(月)	平成22年京丹後市総合文化祭について 平成23年京丹後市成人式について 全国社会教育研究大会に向けて 公民館の体制及び運営に関する答申内容について
第6回	3月17日(木)	平成23年度社会教育関係予算の概要 平成23年度社会教育・地域公民館事業計画について 第53回全国社会教育研究大会「京都大会」について 社会教育全般について意見交換

平成23年1月31日

京丹後市教育委員会
教育長 米田敦弘 様

京丹後市社会教育委員会議
議長 本城昌彦

京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方について（答申）

平成22年1月4日付、1社会第1693号で諮問がありました上記のことにつきまして、
別紙のとおり答申いたします。

京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方について(答申)

1 はじめに

平成22年1月4日に京丹後市教育委員会教育長から、「京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方について」の諮問を受け、審議の経過を平成22年3月31日に報告したところである。その後、各地域から選出されている社会教育委員が京丹後市全体の公民館活動の現状について認識を共有するため、具体的に公民館関係者との懇談を重ねるとともに、その情報を基に社会教育委員会議で慎重に審議を進めてきた。

その結果、次のとおり意見を取りまとめたので答申する。

2 京丹後市における公民館の推進体制について

(1) 地域公民館の推進体制

地域公民館は、それぞれの地域課題及び地域の独自性に配慮しつつ住民の多様なニーズを把握し、事業を実施していくことが必要である。同時に、公的社会教育施設として市民の学習機会の拡充を図るため、各地域公民館が地域の課題について共通の認識の上にたって連携し、広域的な事業を実施していくことも重要である。

地域公民館の設置は、当面合併前の町域単位の6地域公民館をそのまま存続し、公民館長と専門職員の公民館主事及び公民館嘱託職員、あわせて施設管理等、必要に応じて臨時職員を配置した体制が望ましい。また、地域公民館が地域のニーズを把握し、効果的な事業を計画・運営していくためには地域公民館職員だけでは限界があるため、地域公民館で実施するさまざまな事業への地域住民の参画と協力が必要であり、住民参加による事業の運営体制を構築していくことが今後の課題であると考え。あわせて、スポーツを通じた地域の健康づくりと住民交流を促進するためには、専門職員である体育指導委員の役割は重要であるため、地域の体育指導委員を地域公民館へ配置し、地域の体育・スポーツ事業の企画及び運営を分担することが望ましい。

地域公民館の施設は、身近な市民の学習と交流の拠点であるため、既存の公共的施設の利活用又は市民局との共用等を検討するなど、地域の拠点となる地域公民館施設を確

保することが急務である。

地域公民館の予算は、公的社会教育施設として、引き続き各地域公民館の事業計画に基づいて積算された社会教育予算により直接執行することが効果的である。また、京丹後市における地域課題を共有し、共通の事業を実施していくことや地域間を越えて市民が自由に参加できる事業の実施することが必要であり、このための教育委員会の指導性と必要な経費の確保が重要である。

(2) 地区公民館の推進体制

地区公民館は、これまで小学校区を基盤とした公民館活動を進めてきたが、小学校の再配置により学校がなくなる地区が発生するため、今後は地区の拠点としての活動を強化するための支援が重要である。また、活動内容も地域の活性化を目的とした本来地区公民館に求められている活動である「住みよい地域づくり」、「住民交流の促進」、「地域の教育力の向上」、「地域文化の伝承」が活動の中心となっていくことが予想される。あわせて、公的社会教育施設として設置されているため、住民の学習機会の均等を保障するための一定の共通の基準をもって事業を展開する必要がある。

地区公民館の運営は、地区の実情に合わせた生活課題の学習及び地区の住民交流を中心とした住みよい地域づくりを目指した活動であるため、地区の活性化に取り組む地区行政と連携した活動ができる体制が望ましい。このため、引き続き地区から選出された公民館長及び公民館主事を配置するとともに、地区行政と一体となって自主的に運営する地区公民館の体制を整備することが必要である。

地区公民館の施設は、ほとんどが専用の施設がなく地区の集会所等へ併設されているのが現状であるが、地区と一体となった公民館活動をすすめるために、専用施設にはこだわることなく住みよい地域づくりをすすめるための住民交流の場と位置づけて活動を継続することが有効である。

地区公民館の運営に係る経費では、地区公民館長及び地区公民館主事の報酬について現状の月額報酬を見直し、1年間の活動を基礎とした年額報酬が望ましい。あわせて、報酬の額についても合併前の報酬額を再考し、他の非常勤特別職の職員の額も参考にしながら再検討を求めたい。また、地区公民館の活動にかかる経費は、地区の主体的な活動を保障するとともに、地区公民館の体制を考慮しながら一定の基準をもって引き続き活動交付金として交付することが望ましい。

(3) 小規模地区公民館と分館体制

現在、京丹後市内には分館が設置されている地区公民館がある。また、合併前から引き継がれた小規模地区公民館も存在する。今後は、京丹後市内でも少子高齢化が進むことが明らかであり、地域によっては集落単位での公民館も限界が予想される。その場合、他地区への統合等の必要が生じるため、できるだけ小規模な集落単位の地区公民館や分館は避けるべきである。このため、大宮地域における分館は廃止し、当面は行政区を基盤とした一定規模の地区公民館として設置することが望ましい。また、休館等公民館活動の空白地区が発生した場合は、市民の学習や交流機会の均等を図るため、近隣地区公民館への統合等、地域の実情にあわせて早急に対処していただきたい。

3 京丹後市における今後の公民館運営のあり方について

(1) 生涯学習センターとしての中央公民館の設置

京丹後市の公民館は、合併以後地域公民館を設置して、それぞれの地域課題及び地域の独自性に配慮しつつ住民の多様なニーズを把握して事業を実施してきた。

しかし、市民のニーズにあった公民館活動を進めるために、各地域の独自性を維持しつつも京丹後市の生涯学習をすすめる拠点施設として、その機能を再整備する必要がある。同時に、公的社会教育施設として市民の学習機会の拡充を図るため、各地域公民館が地域の課題について共通の認識の上にとって連携し、広域的な事業を実施していくことも重要である。このため、京丹後市内の公民館を統括し、市民のニーズにあった公民館事業を系統的に実施するために、京丹後市の生涯学習センターの機能を持った中央公民館を設置することを早急に検討していただきたい。

中央公民館の施設は、施設の整備も重要であるが財政事情の考慮し、当面既存の施設の活用を原則とし、まず学習機能の充実を図ることを重要視すべきであると考えます。

中央公民館の運営は、生涯学習の拠点としてさまざまな学習機能を系統的にすすめる必要があるため、社会教育行政と一体となった運営が効果的である。

(2) 地域公民館と小学校の連携

京丹後市の公民館活動は、小学校と連携し、地域で子どもを育てる活動を中心として

地域ぐるみで活動されてきた。このため、今後も小学校との連携を重視し、小学校の再配置により新たな小学校区ができた場合には地域公民館の配置を見直し、新たに小学校単位の地域公民館を設置することが重要である。

地域公民館の運営体制は、新たな地域の拠点となり小学校及び地域の連携体制を構築することが求められるため、公民館長と公民館主事及び必要な職員を配置することが必要である。

地域公民館の施設は、新たな市民の拠り所としての公民館施設の確保が重要であり、既存の施設及び再編後の学校施設等を活用しながら、拠点施設の整備と学習機能の充実を図らねばならない。

(3) 地区公民館のあり方

地区公民館は、京丹後市の発足と同時に、そのほとんどが合併した6町の体制を引き継ぎ、45地区公民館及び14分館が設置された。このため、現在でもそれぞれの地区で独自に活動された活動が継承されており、条例により一定の基準に基づいた画一的な地区公民館を継続することはきわめて困難である。

ただ、京丹後市における地区公民館は、地域に根ざした独自の活動を進めてきた歴史的な背景があるため、今後は地区の自治組織と連携した地区の活性化のための学習や交流活動の拠点と位置づけて、現在の活動の支援を継続していくことが効果的である。特に、学校の再配置により小学校がなくなる地区においては、住民の拠り所としての地区公民館の役割は一層重要になることが予想されるため、地区の活動が衰退することがないように支援を強化するなど有効な対応をお願いしたい。

4 京丹後市における生涯学習の推進について

京丹後市では、行政や関係機関・団体等から必要に応じて住民にさまざまな学習機会が提供されている。それぞれの事業効果は認められるが、立場や必要性に応じて事業が実施されているため、事業の重複等、非効率な部分なども見受けられる。

今後は、すべてが市民の生涯学習の場と位置づけ、教育行政だけではなく関係行政機関や団体等が広く連携・協力し、地域の活性化に向けた住民の学習機会や交流の場をより効果的に提供することが望まれる。

このため、京丹後市における学習機能を総合的かつ系統的に実施する生涯学習の推進体制の整備を早期に検討していただきたい。

5 さいごに

京丹後市では、社会の急激な変化などによる少子・高齢化が急速に進み、いわゆる限界集落が増えてくることは明らかである。また、地域の人間関係が希薄化してきているといわれ、これからもこの傾向は進むことが予想される。このため、地域の活性化を進めることは重要な課題であり、公民館活動への期待と役割は大きくなっていく。

今後、京丹後市の生涯学習体制が整備され、公民館がその拠点としての機能を十分に発揮し、京丹後市の子どもからお年寄りまでみんなが楽しく住みよい地域づくりに向けた活動がさらに進むことを期待したい。

平成23年1月31日

京丹後市社会教育委員会議

議 長	本城 昌彦		
副議長	岡 眞子		
委 員	平井 猛	垣田 忠男	
	堀 さきみ	中矢 敏郎	
	引野 留子	谷 良夫	
	戸石 育代	藤原 繁和	
	石田佐保子	小森 哲朗	
	中山 一	平井 孝子	
	三浦 明子		

【検討の経過】

会議名・開催日時	主 な 内 容
平成 22 年 1 月 26 日 第 5 回社会教育委員会議	・ 公民館の体制及び運営に関する諮問について (諮問内容の質問及び答申内容について意見交換)
平成 22 年 2 月 16 日 第 6 回社会教育委員会議	・ 公民館の体制及び運営に関する答申について (答申の項目及び内容について意見交換)
平成 22 年 3 月 18 日 第 7 回社会教育委員会議	・ 公民館の体制及び運営に関する答申について (答申に向けての中間報告の内容確認)
平成 22 年 3 月 31 日	「京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方 について」(中間報告)の提出
平成 22 年 5 月 7 日 第 1 回社会教育委員会議	・ 京丹後市における公民館の推進体制について (答申に向けて中間報告を踏まえた意見交換)
平成 22 年 8 月 20 日 第 2 回社会教育委員会議	・ 京丹後市における公民館の推進体制について (答申に向けて中間報告を踏まえた意見交換)
平成 22 年 11 月 17 日 第 3 回社会教育委員会議	・ 京丹後市における公民館の推進体制について (地域公民館長と意見交換)
平成 22 年 11 月 29 日～ 12 月 16 日 地域別懇談会 (6 地域)	・ 地域における公民館の現状と課題 (各地域公民館連絡協議会役員との意見交換)
平成 23 年 1 月 21 日 第 4 回社会教育委員会議	・ 社会教育委員会議の答申内容について (各地域別懇談会を踏まえて答申内容を検討)

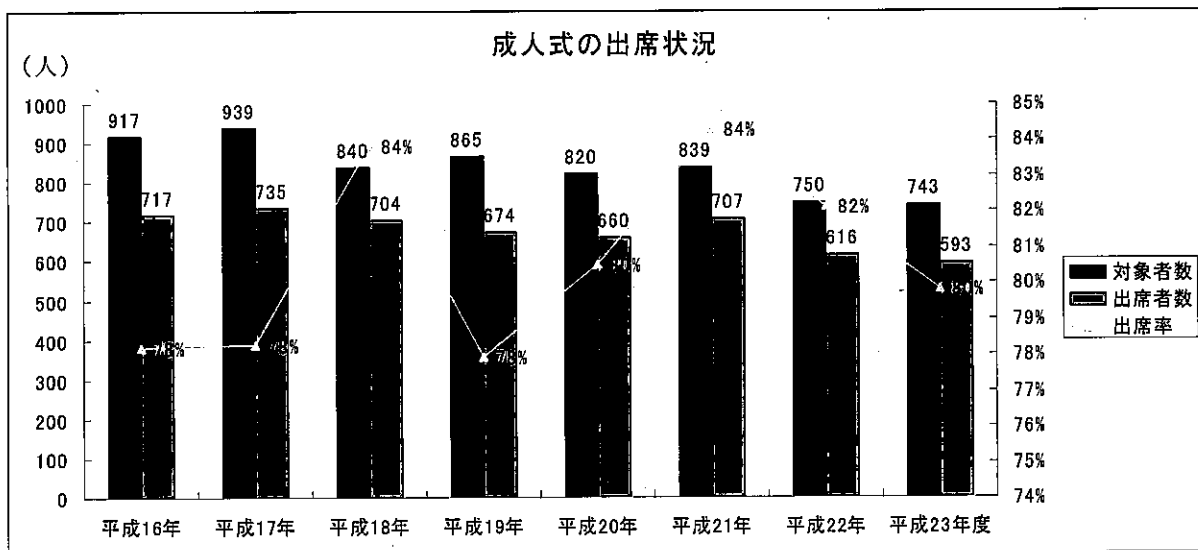
(2) 指導員の配置

社会教育指導員 10人

社会教育課（本庁）に1人、峰山地域公民館に2人、網野地域公民館2人、その他地域公民館には1人配置。

(3) 成人式の開催

- ・日時：平成23年3月20日（日） 午後2時00分
- ・会場：京都府丹後文化会館
- ・招待者：743人（男性：381人 女性：362人）
- ・出席者：593人（出席率／80%）
- ・記念品：記念写真、京丹後市制作DVD



(4) 青少年教育

○夏休み子ども映画会

実施日			内 容	場 所	参加
8	21	土	映画「ボルト」 (3会場で実施)	丹後地域公民館 峰山総合福祉センター 久美浜庁舎 大会議室	55名 100名 45名

○理科わくわく体験事業～京都工芸繊維大学連携事業～

実施日			内 容	場 所	参加
8	23	月	植物観察・フィールドワーク編 ～手作り「リトマス紙」をつくってあそぼう！～ 京都工芸繊維大学 生物資源フィールド科学教育研究センター 巽 二郎 教授	峰山地域公民館	11名
8	25	水	組紐編 ～手組みでミサンガをつくりましょう！～ 京都工芸繊維大学 先端ファイプロ科学部門 濱田泰以 教授 伝統みらい教育研究センター 多田牧子 特任教授		59名



【作成したリトマス紙で色の変化を確認】



【手組みミサンガに挑戦】

(5) 障害者教育

○視覚障害者研修会

- ・日 時 平成22年10月25日(月) 午前10時00分～
- ・会 場 アグリセンター大宮
- ・参加者 市内在住視覚障害者、その家族、ヘルパー 39名
- ・内 容 童謡唱歌・大正琴演奏の鑑賞
消費生活講座

○聴覚障害者研修会

- ・日 時 平成22年10月29日(金) 午前10時00分～
- ・会 場 丹後海と星の見える丘公園
- ・参加者 市内在住聴覚障害者、その家族、ヘルパー 16名
- ・内 容 木工体験「ストラップ作り」
公園内の散策と環境学習

(6) 成人教育

○IT講習会 平成22年11月2日～平成22年12月20日まで

1講座(6回)×6教室

コース名	内 容	会 場	曜 日	時 間	参加者数
A	パソコン入門 (ワード)	峰山地域公民館 視聴覚室	火・金	13:30～ 15:30	15名
B	パソコン入門 (エクセル)	峰山地域公民館 視聴覚室	火・金	19:30～ 21:30	15名
C	パソコン入門 (エクセル)	ら・ぼーと(網野) 研修室	月・木	13:30～ 15:30	15名
D	パソコン入門 (ワード)	ら・ぼーと(網野) 研修室	月・木	19:00～ 21:00	15名
E	パソコン入門 (ワード)	丹後地域公民館 パソコン教室	月・木	13:30～ 15:30	11名
F	パソコン入門 (エクセル)	丹後地域公民館 パソコン教室	月・木	19:30～ 21:30	9名

(7) 家庭教育

実施日			内 容	場 所	参加
7	26	月	高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業 高校生と子育て支援センターを利用する幼児及 びその親とのふれあい交流事業 【3回】	久美浜地域子育て支 援センター	高校生6名 親子67名
7	27	火			
7	28	水			
7	29	木	高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業 高校生と子育て支援センターを利用する幼児及 びその親とのふれあい交流事業 【3回】	大宮地域子育て支 援センター	高校生3名 親子65名
7	30	金			
8	3	火			
8	17	火	京丹後市PTA協議会家庭教育研修会・交流会 子育て交流会・ワークショップ	アグリセンター大宮	81名
12	7	月	家庭教育支援基盤形成事業 家庭教育支援子育てサポーター研修会 「保健室より見受けられる児童生徒の今」 教育カウンセラー 後藤すづ代氏	峰山地域公民館講義室	23名



【高校生と赤ちゃんのふれあい交流】



【家庭教育研修会(子育て交流会)】

(8) 文化芸術事業

○公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業

アーティスト：STRING QUARTET EARTH【弦楽四重奏】

実施日			内 容	場 所	参加
10	13	水	アクティビティ① 10:45~11:45 ミニコンサート、楽器紹介、昼食交流 参加者：全校児童	田村小学校音楽室	52名
			アクティビティ② 14:50~15:40 ミニコンサート、合唱交流 参加者：選択音楽	弥栄中学校音楽室	20名
10	14	木	アクティビティ③ 10:50~11:50 ミニコンサート、楽器紹介、昼食交流 参加者：4年生~6年生	佐濃小学校音楽室	71名
			アクティビティ④ 16:00~17:00 ミニコンサート、合唱交流・演奏披露 参加者：プラスバンド部	大宮中学校音楽室	42名
10	15	金	アクティビティ⑤ 10:45~11:45 ミニコンサート、楽器紹介、昼食交流 参加者：6年2組	網野南小学校音楽室	33名
			アクティビティ⑥ 13:40~14:45 ミニコンサート、楽器紹介 参加者：3年生	橘小学校音楽室	43名
10	16	土	コンサート「まほろばの郷音楽会」 STRING QUARTET EARTH (弦楽四重奏)	京都府丹後文化会館	250名

○本物の舞台芸術体験事業

実施日			内 容	場 所	参加
10	13	水	音楽劇【藤原歌劇団】 本公演「カルメン」、共演	神野小学校	115名
10	14	木	音楽劇【藤原歌劇団】 本公演「カルメン」、共演	久美浜小学校	211名
10	15	金	音楽劇【藤原歌劇団】 本公演「カルメン」、共演	黒部小学校	188名
10	21	木	演芸【RHYTHM COLLECTION】 本公演、ミニリズム教室	久美浜中学校	221名
10	25	金	演劇【劇団えるむ】 本公演「ベッカニコおに」、共演	弥栄中学校	207名

○京丹後市文化協会活動支援

実施日			内 容	場 所	参加
5	27	木	京丹後市文化協会総会	峰山地域公民館	34名
9	6	月	京丹後市文化協会役員研修会（視察研修） ～福知山市文化協会との交流会～	福知山市新町文化センター研修室	27名
1	19	水	京丹後市文化協会指導者研修会 講義・意見交換「京丹後市の文化行政について」 講師：京丹後市長 中山 泰 氏	京丹後市役所	22名
3	19 20	土 日	京丹後市総合文化祭「総作品展」 出 展：31団体 約500点	弥栄社会体育館	450名
3	27	日	京丹後市総合文化祭「舞台芸能祭」 出 演：40団体 約602名	京都府丹後文化会館	600名

○第26回国民文化祭・京都2011関連事業

平成23年度に第26回国民文化祭・京都2011 小町ろまん「短歌大会」を開催するにあたり、日本の伝統文学である短歌への理解と国内祭最大の文化の祭典である国民文化祭の開催に向けた気運の醸成を目的に短歌教室・研修会を実施した。

実施日		内 容	場 所	参加
7月27日～ 8月24日	初心者向け短歌入門教室（丹後会場）全5回 講師：富田 宏 氏	丹後地域公民館	5名	
7月23日～ 8月27日	初心者向け短歌入門教室（弥栄会場）全5回 講師：富田 宏 氏	弥栄地域公民館	7名	
8月29日～ 11月21日	初心者向け短歌入門教室（久美浜会場）全5回 講師：尾形 貢 氏	久美浜農業センター	15名	
2月23日～ 3月23日	初心者向け短歌入門教室（網野会場）全5回 講師：水野 孝典 氏	ら・ぼーと	26名	
3月1日～ 3月29日	初心者向け短歌入門教室（峰山・大宮会場）全5回 講師：富田 宏 氏	峰山地域公民館	23名	

実施日			内 容	場 所	参加
2	24	木	児童生徒への指導のための教職員研修会 講師：京都歌人協会評議員 岩田 晋次 氏	アグリセンター大宮	50名

(9) 人権教育

○人権教育講演会の開催

実施日			内 容	場 所	参加
6	24	木	人権講演会「人に優しい地域づくりと公民館活動」 講師：京都府立大学 教授 築山 崇 氏	アグリセンター大宮	100名
8	27	金	人権教育研究京丹後市大会 講演会「同和教育の歴史に学ぶ」 講師：京都教育大学教育実践総合センター 教授 外山 正明 氏 小学校、中学校、社会教育実践発表	京都府丹後文化会館	450名
3	11	金	人権講演会「同和教育が大切にしてきたこと」 講師：京都教育大学教育実践総合センター 教授 外山 正明 氏	峰山地域公民館	35名

○京丹後市人権と女性のつどい〔市民課と共催〕

- ・日 時 平成 22 年 11 月 28 日（日） 午前 10 時 00 分
- ・会 場 アグリセンター大宮
- ・内 容 第 1 部 中学生人権作文優秀作品の朗読
第 2 部 ヨガ教室、扇舞・コーラスサークル発表
第 3 部 ①ヒューマンライツ・コンサート
演奏：アンサンブル・サビーナ
②講演「ママさん落語家奮闘記」～落語界における男女共同参画～
講師：桂三扇 氏
- ・参加者 220名

(10) 学校支援地域本部事業

＜コーディネーターの配置 6名＞

○実行委員会の開催

①第 1 回実行委員会 平成 22 年 6 月 22 日（火） 10:00～11:30

- ・平成 22 年度京丹後市学校支援地域本部事業について、学校支援ボランティアの募集について、学校支援ボランティアの活動計画・状況について

②第 2 回実行委員会 平成 23 年 2 月 24 日（木） 10:00～11:40

- ・平成 22 年度京丹後市学校支援地域本部の活動報告について
- ・平成 23 年度の事業推進体制及び方向性について

○ボランティアの登録状況について

①登録数 267人 【(H20/112人) (H21/58人) (H23/97人)】

②登録内容(重複登録あり)

登下校安全指導(45人)、部活動支援(58人)、学習支援(187人)、読書活動支援(66人)、環境整備(23人)、合同行事(12人)、その他(15人)

○広報活動について

①6月25日発行 学校支援ボランティアの募集

②3月10日発行 学校支援地域本部だより

③地域公民館報、各校「学校だより」、ホームページ

○活動状況について

実施日	活動内容		参加
峰山中学校区	学習支援	しめ縄づくり、ミシン操作指導、スキー教室指導、そろばん指導、昔の道具指導、昔の遊び指導、英語活動指導、放課後補習、陸上クラブ指導、習字指導、琴の生演奏、水墨画指導、読み聞かせ、バスケットボール指導、親子遠足引率	115回 211人
	環境支援等	図書の電子化作業、	
大宮中学校区	学習支援	ミシン操作指導、スキー教室指導、習字指導、書初め指導、マラソン指導、調理実習、放課後補習、家庭科クラブ指導、美術指導、読み聞かせ、ブラスバンド指導	261回 288人
	環境支援等	高木剪定、図書室整備、行事等写真撮影	
網野・橘中学校区	学習支援	学習時特別支援、スキー教室指導、そろばん指導、放課後補習、書初め指導、調理実習、合唱指導、読み聞かせ、幼稚園行事協力支援	1,005回 3,411人
	環境支援等	登下校安全指導、図書修繕・新規登録作業、芝生散水作業、行事等写真撮影、	
間人・宇川中学校区	学習支援	放課後日本語学習、スキー教室指導、そろばん指導、放課後補習、家庭科小物づくり家庭科クラブ、夏休み補習、講話、マリンバ演奏・体験、読み聞かせ、バスケットボール、バレーボール、お茶会体験	371回 1,712人
	環境支援等	登下校安全指導、	
弥栄中学校区	学習支援	スキー教室指導、そろばん指導、放課後補習、習字指導、長距離走指導、科学クラブ・手芸クラブ、調理クラブ、少人数数学級指導	250回 265人
	環境支援等	図書の電子化作業	
久美浜・高龍中学校区	学習支援	ミシン操作指導、スキー教室、そろばん指導、読み聞かせ、図工学習支援、調理実習、道徳講話、長距離走指導、合唱指導、将棋クラブ、バスケットボール、吹奏楽	55回 101人
	環境支援等	—	

(11) 第 26 回国民文化祭・京都 2011

○小町ろまん「短歌大会」企画委員会の開催

実施日		会 場	内 容	
5	25	火	島津メディカルプラザ	企画委員の確認、地元（京都府）選者の確認、プレ大会「京丹後市小町ろまん短歌大会」、小町ろまん「短歌大会」実施要項・サブテーマの決定
9	1	水	ホテルセントノーム京都	プレ大会「京丹後市小町ろまん短歌大会」について、小町ろまん「短歌大会」賞の設定、審査員候補者について、第 25 回国民文化祭・おかやま 2010 文芸祭「短歌大会」視察
10	6	水	ホテルセントノーム京都	プレ大会「京丹後市小町ろまん短歌大会」第二次審査、実施要領の確認について、小町ろまん「短歌大会」募集要項・記念講演の内容検討
11	13	土	プラザホテル吉翠苑	第 25 回国民文化祭・おかやま 2010 文芸祭「短歌大会」視察研修報告、プレ大会「京丹後市小町ろまん短歌大会」の運営について、小町ろまん「短歌大会」記念講演について
12	14	土	ホテルセントノーム京都	プレ大会「京丹後市小町ろまん短歌大会」の反省、小町ろまん「短歌大会」募集要項・送付先の確認、予算（案）、スケジュールの確認
2	8	火	ホテルセントノーム京都	小町ろまん「短歌大会」募集要項・発送先リストの確認、大会シャトルバスの運行について、京丹後市小・中・高等学校教職員の短歌指導研修会の実施について

○先催県の視察

実施日	場 所	内 容	参加'
11月2日 ～11月3日	岡山県鏡野町 交流会「津山鶴山ホテル」 大 会「鏡野中学校講堂」	第 26 回国民文化祭・おかやま 2010 文芸祭「短歌大会」 11/2 交流会の視察 11/3 文芸祭「短歌大会」の視察」開会式、記念講演、総評、 選者選評、表彰式、次期開催「京丹後市 PR」	8 名

○第 26 回国民文化祭・京都 2011 プレ大会「京丹後市小町ろまん短歌大会」

・短歌募集 平成 22 年 6 月 1 日～平成 22 年 9 月 10 日

(投 稿 数) 一 般 の 部 (482 首)、高校生の部 (141 首)

中学生の部 (536 首)、小学生の部 (132 首)

合 計 (1,291 首)

・日 時 平成 22 年 11 月 14 日 (日) 13:00～16:00

・会 場 アミティ丹後 多目的ホール

- ・内 容 沖ななも添削教室 18名
- 歴史散策 26名
 - (Aコース) 鬼退治と鳴き砂散策
 - (Bコース) 静御前と鳴き砂散策
- 短歌大会 150名
- 式典、入賞作品の発表、表彰、選者による選評



○第26回国民文化祭・京都2011 小町ろまん「短歌大会」

事業名	内 容
小町ろまん「短歌大会」	短歌募集要項の作成 45,000部
	短歌募集ポスターの作成 1,000部
	短歌大会カラー封筒印刷(角形2号) 15,000枚
	短歌大会カラー封筒印刷(角形2号) 3,000枚
	短歌雑誌への短歌募集広告掲載
	NHK短歌4月号、短歌現代4月号、短歌研究4月号
	角川短歌4月号、産経新聞京都版
短歌募集要項の発送 5,397件	